

令和2年度 高瀬堰における取り組みについて(中間報告)



国土を**整**え、全力で**備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

太田川河川事務所
施設管理課(高瀬堰)

■高瀬堰におけるアユふ化仔魚降下に関する取り組み

年度	内容
平成28年度	アユ仔魚降下促進の試験的運用の事前調査(貯水池流速調査)
平成29年度	アユ仔魚降下促進の試験的運用実施及び効果検証
平成30年度	〃
令和元年度	〃
令和2年度	試験運用実施無し(高瀬堰への流入量が少なかったため) アユ仔魚降下状況の確認

■令和2年度の調査概要(前回懇談会後 R2.9～)

項目	内容	回数・時期
ふ化仔魚降下調査	広島市が高瀬堰より下流で実施したアユふ化仔魚の調査と同日に2回、貯水池上流端、堰下流において、プランクトンネットにより採捕	2回 令和2年11月
産卵場調査	大規模な維持掘削をした三川合流部において令和2年秋もアユが産卵しているかどうかを確認	1回 令和2年10月

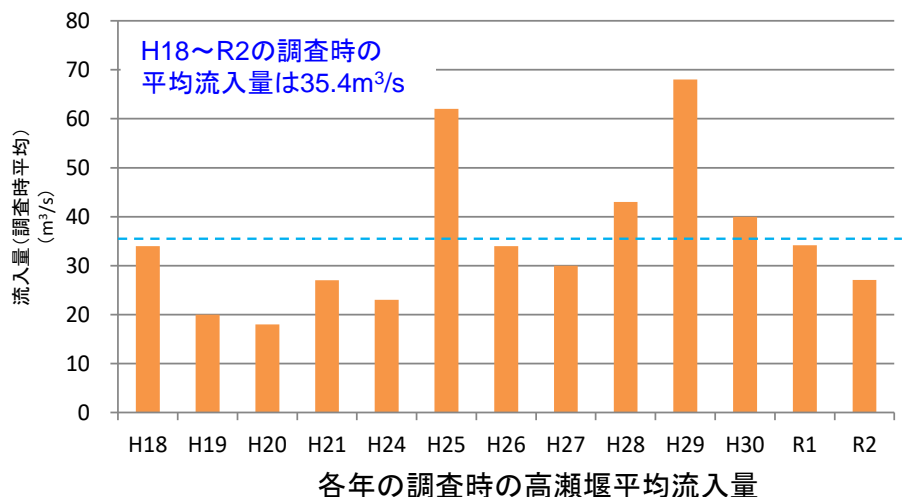
業務実施中(検収前)であるため、調査結果の報告は業務が完了する令和4年1月以降の予定

アユふ化仔魚降下調査

■調査概要(調査手法は例年どおり 上流側の地点は1地点のみに変更)

- 高瀬堰を挟んで上流側1地点、下流側1地点で実施した(これまで調査をしていた太田川本川、三篠川・根谷川合流部は廃止)。
⇒貯水池上流端のみで、流入ピークを把握できることが分かってきたため
- 調査の仕様は例年どおりとした。
 - 時間帯: 夕方16時～翌4時
 - 採取間隔: 堰上流は1時間、下流は20分間
 - プランクトンネット(口径45 cm、目合300 μm)使用
 - 濾水量30 m³程度
- 令和2年は、広島市が高瀬堰下流で調査する日に合わせ、発電逆調整時に2回、調査を実施した(11月9～10日、10～11日)。

※高瀬堰の操作 令和2年秋は高瀬堰への流入量が少なく、夜間の放流量を増やす試験的運用は実施なし。



調査箇所とネット設置状況

■調査結果

- 2回の調査ともに、堰上流、堰下流でアユふ化仔魚が通過するのを確認できた。
- 通過ピークの出現状況等は高瀬堰流入量が類似している年と概ね同じ。

アユ産卵場調査結果

■目的

- 三川合流部は令和元年から令和2年にかけて大規模な維持掘削を実施したため、維持掘削後も三川合流部がアユの産卵場として機能しているかどうかを確認した。

■調査結果

- 令和2年10月に三川合流部で調査したところ、令和2年も三川合流部でアユが産卵していることを確認した。



三川合流部で実施した維持掘削の状況
(国土強靱化のための3か年緊急対策)